

平成29年6月7日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄 殿

文部科学省研究開発局長
田中 正朗

大洗研究開発センター燃料研究棟における作業員の被ばくについて

今般、大洗研究開発センター燃料研究棟において、核燃料物質を収納した貯蔵容器の点検作業中に作業員5名の被ばく事象が生じたことは、地元を始めとした国民の信頼を傷つけるものであり、文部科学省としてもこのような事態が発生したことは、誠に遺憾である。

今後、本件に関する状況及びそれに対する処置について法令に基づき原子力規制委員会に報告等を行うこととなるが、その際、以下の点について対応を検討し、その方針を文部科学省に報告するとともに、着実に実施されたい。

- (1) 被ばくした作業員の状況の把握及び処置に必要な取組を最優先として、真摯な対応を図ること。
- (2) 状況把握を踏まえ本件に関する原因究明及びそれに基づく対策の検討に十分な体制を整えた上で、当該施設以外の施設も含めた再発防止策の検討、対応策の実施に取り組むこと。
- (3) 当該施設以外の施設も含め、安全確保に関する取組を再度徹底し、今後このような事態を生じないように、安全確保を最優先として取り組むこと。

これらの取組の進捗状況については、随時文部科学省に報告されたい。

以 上